

平成29年度 公益財団法人長岡市国際交流協会 事業報告

第1 都市間交流の推進

姉妹都市や友好都市をはじめ、その他諸都市との市民レベルの交流を活発に展開する。

1 姉妹都市フォートワース市(アメリカ合衆国)との交流事業

No.	受入人数		訪問人数		期 間		回数	項 目	内 容
	生徒	大人	生徒	大人	始期	終期			
1	13	4			6/22	6/29	28	フォートワース中学・高校生グループ受入	フォートワースの中・高校生が長岡市を訪問し、ホームステイをしながら日本文化の体験、市内中学・高校の学校生活体験・交流などを行った。
2			11	3	7/15	7/31	28	インターナショナルリーダーシップアカデミー(ILA)訪問	フォートワースの高校生と同市の姉妹都市8カ国の高校生が集まり、大学寮で生活を共にしながら「意義ある国際交流の進め方」をテーマにディスカッションした。
3	8	2			7/27	8/5	26	原信サマースカラシップ受入	(株)原信からの運営資金の提供を受けて実施。両市の高校生8人、引率2人が各々ペアを組み、パートナーの家でホームステイをしながら長岡まつり参加、日本文化体験などを行った。
4			8	2	8/8	8/17	26	原信サマースカラシップ訪問	(株)原信からの運営資金の提供を受けて実施。両市の高校生8人、引率2人が各々ペアを組み、パートナーの家でホームステイをしながらフォートワースの文化体験をした。
5			30	6	10/21	10/30	26	中学生海外体験フォートワース訪問	市内中学2年生がフォートワースでホームステイや学校訪問などを通して異文化理解と現地市民との交流を深めた。日本庭園で開催された日本人秋祭りにて、フォートワース市民及び姉妹都市締結30周年記念事業に参加していた長岡市長を初めとする訪問団の前で日本文化紹介を行った。訪問生徒は教育委員会が選考。(長岡市「熱中！感動！夢づくり教育事業」)
6				21	10/27	10/31		フォートワース姉妹都市締結30周年記念公式訪問団フォートワース訪問	姉妹都市締結30周年を記念し、平成29・30年度の2か年で記念事業を実施。平成29年度はフォートワース日本庭園で開催される日本秋まつりに合わせて、市長、議長、各会派選出議員5名、イトラスト、毛利製作所ほか訪問団がフォートワースを訪問。プライス市長との懇談、記念リセプション出席、ビジネス交流、教育者ミーティング等を行った。
7			5	1	10/27	10/31		フォートワース姉妹都市締結30周年記念教育・文化交流	30周年の機会を捉え、フォートワースにおいて、教育・文化関係者による意見交換等を行った。また、原信創業50周年特別奨学生(株)原信が派遣経費を提供)として大学生を5人派遣し、ホームステイや長岡の紹介等を行いながら異文化理解と現地市民との交流を深めた。
8						3月		フォートワース姉妹都市締結30周年記念誌作成	多くの市民に両市の交流を広く知ってもらうとともに、事業への参加・理解を促進するため、姉妹都市交流30年間のあゆみを作成した。

2 姉妹都市トリアー市(ドイツ連邦共和国)との交流事業

No.	受入人数		訪問人数		期 間		回数	項 目	内 容
	生徒	大人	生徒	大人	始期	終期			
1				23	6/23	6/28		トリアー姉妹都市締結10周年記念 公式訪問団トリアー訪問	平成28年4月1日に姉妹都市締結10周年を迎え、平成28・29年度の2か年で記念事業を実施。平成29年度はトリアー市で記念事業を行った。6月に開催された旧市街祭りにあわせて公式訪問団がトリアー市を訪問し、記念事業出席、姉妹都市締結再確認調印、トリアー市長ほか要人との懇談、市民との交流等を行った。
2				41	6/23	6/28		トリアー姉妹都市締結10周年記念 市民訪問団トリアー訪問	10周年記念事業に合わせて市民訪問団がトリアー市を訪問し、各記念事業に参加しながらトリアー市民と交流を深めた。
3			5	5	6/23	6/28		トリアー姉妹都市締結10周年記念 文化・大学交流	10周年記念事業として、トリアー市において、長岡のソプラノ歌手とトリアーのテノール歌手の合同公演、小国和紙の製造工程及び作品の紹介を行った。また、原信創業50周年特別奨学生(榊原信が派遣経費を提供)として長岡造形大学の輪太鼓衆・転太鼓舞に所属する大学生を5人派遣し、和太鼓の演奏及び市民との交流を行った。併せて、長岡造形大学が、トリアー応用科学大学と大学間連携協定を目指した交流合意書を交わした。
4					6/24	6/25	5	アオーレ！ドイツフェスト	特定非営利活動法人ながおか未来創造ネットワークとの協働開催で、アオーレ長岡を会場にワインセミナー等を開催した。昨年度に引き続きトリアー10周年記念事業の一環として開催。記念事業でトリアーを訪れている長岡の訪問団とアオーレをSkypeでつないだ。
5			8	2	7/20	7/31	15	トリアー青少年国際スポーツキャンプ	トリアー市の姉妹都市などから青少年が集まり、体育館で寝食を共にしながらスポーツを通じて交流した。またホームステイを通じてドイツの生活も体験した。
6		3			9/12	9/13		ドイツワインセミナー	トリアーSMW社シュミット社長ほかを受け入れ、ドイツワインセミナーを開催した。(通常は6月のドイツフェストの中で開催するものだが、トリアーでの10周年記念事業のため関係者が来岡できなかったもの)
7	2	7			9/29	10/5		トリアー青少年グループ受入	トリアー市の青少年グループが来岡し、ホームステイをしながら、小国の折り紙アート体験や、栃尾のUNE HAUSへの宿泊、稲刈りや紙漉き体験を行い、日本文化の理解を深めたり、市民と交流した。
8		10			11/1	11/6		トリアー市民訪問団受入 オペラ公演	トリアー市の市民訪問団が来岡し、日本文化を体験したり、ドイツ料理講座を開催して市民と交流を深めた。また、トリアー出身のオペラ歌手と長岡出身ソプラノ歌手及び長岡青少年少女合唱団による公演を行い、市民に姉妹都市を身近に感じてもらった。

3 姉妹都市ホノルル市・郡(アメリカ合衆国)との交流事業

No.	受入人数		訪問人数		期 間		回数	項 目	内 容
	生徒	大人	生徒	大人	始期	終期			
1					7/8	7/9		アロハフェスティバル	長岡アロハクラブ等との協働開催で、ホノルルの文化紹介を行うアロハフェスティバルに協力した。ハワイ日米協会理事の浅沼正和氏と司会の藤井氏によるハワイをテーマとしたトークセッションを開催した。
2			5	1	8/5	8/12	2	高校生英語研修プログラム in Honolulu	ホームステイをしながら、戦跡地での歴史学習、現地の学校訪問、英語レッスン参加、ハワイの青少年との交流などを行った。
3		3			10/6	10/7		戦艦ミズーリ記念館関係者来岡	戦艦長門「軍艦旗」が山本五十六景仰会に寄贈されるにあたり、協会が長岡市及び景仰会を側面支援した。
4			11	2	12/5	12/10	7	学生平和交流プログラム in Honolulu	高校生、大学生がホノルルを訪問。真珠湾攻撃追悼式典出席、ハワイ大学生との交流、パンチボウルでの献花等を行い、世界平和や日米友好について考えた。今年度は、参加者のうち5名が原信創業50周年特別奨学生(株原信が派遣経費を提供)として訪問した。
5			20	3	1/6	1/13	5	中学生海外体験ホノルル訪問	市内中学1年生がホノルル市を訪問し、戦跡地にて歴史学習、パンチボウル献花、現地中学生との交流などを行った。訪問生徒は教育委員会と協会が選考。(長岡市「熱中！感動！夢づくり教育事業」)
6	4	1			2/17	2/19	7	ハワイ高校生グループ受入	ハワイの高校生が長岡でホームステイをしながら、雪しか祭り見学、長岡の青少年との交流、歴史学習などを行い、市民と交流を深めた。
7			9	31	3/9	3/13	8	ホノルルフェスティバル参加	観光・文化紹介グループ、長岡造形大学、帝京長岡高等学校などがホノルルを訪問し、コンベンションセンターでの観光・文化紹介、パレード参加のほか、長岡花火を鑑賞した。
8	64	72			3/24	3/25		カイザー高校吹奏楽部受入・長岡公演	(公財)長岡市芸術文化財団主催のカイザー高校吹奏楽部と帝京長岡高校吹奏楽部の合同公演に協力。公演後に歓迎会を開催し、両校生徒や音楽指導教員同士の友好を深めた。

4 友好都市バンベルク市(ドイツ連邦共和国)との交流事業

No.	受入人数		訪問人数		期 間		回数	項 目	内 容
	生徒	大人	生徒	大人	始期	終期			
1				1	8/3	8/28		オットーフリードリッヒ大学夏期講座参加	オットーフリードリッヒ大学で毎年開催される夏季講座に長岡市出身大学生が参加。各国からの参加生とともに寮生活をしながら、ドイツ文学を学んだ。

第2 多文化共生の推進

長岡市国際交流センターとの連携や共催・後援事業、その他既存事業をととして、在住外国人市民との交流を深め、多文化共生の推進をはかるもの。

No.	項 目	内 容
1	むつみ会主催「外国人による日本語スピーチコンテスト」理事長賞(9月30日実施)	在住外国人市民の日本語学習の研鑽の場、長岡や日本文化の発信の場としてのスピーチコンテストで、理事長賞を授与し、外国人市民を支援した。

第3 人材育成事業

No.	項 目	内 容
1	ワールドリーダーズセミナー(3月26日-27日実施)	中学生・高校生を対象に、国内において国際的に活躍する企業、組織を訪問し、将来の夢をかなえるヒントを与え、国際人育成の一助とするためのプログラムを開催した。(長岡市「熱中！感動！夢づくり教育事業」) 参加者:18名(中学生16名、高校生2名) 訪問先:JICA地球広場、(株)フラー、(株)ヤフー、ANA機体整備工場
2	OBOG交流会(8月19日及び12月27日実施)	姉妹都市訪問事業OBOGを中心とした参加者が集まり、近況を報告し合うとともに、今後のOBOG事業や国際交流事業への関わりについて話し合った。 参加者:8月19日 18名、12月27日 25名
3	青少年団体海外派遣助成事業(通年)	教育、文化及びスポーツ等の分野で国際交流活動を行う青少年の団体に對して、海外訪問時の費用の一部助成を通じて、国際的分野に興味を持つ青少年を育成し、国際交流人口の底辺拡大を図った。 助成決定:14団体139名(高専(5団体)、帝京長岡高校(2団体)、長岡高校(2団体)、長岡工業高等学校、造形大(2団体)、長岡少年硬式野球連盟、長岡ビルボードフットボールクラブ)
4	ホストファミリー交流会(3月21日実施)	ホストファミリー登録者13家族26名が集まり、自身の体験談の共有や、お互いへのアドバイスを通して、来訪者受入時の心得やマナーを学んでもらうとともに、ホストファミリー同士の親交を深めた。
5	国際ソロプチミスト長岡主催「高校生英語スピーチコンテスト」理事長賞(5月28日実施)	高校生の英語力向上や青少年の国際理解・国際交流の推進のため、高校生英語スピーチコンテストで理事長賞を授与。理事長賞受賞者は国際ソロプチミスト長岡が参加費を負担しインターナショナル・リーダーシップ・アカデミーに参加した。訪問した生徒はフォートワースで各国の生徒との交流し、国際理解を深めた。

第4 会員相互連携事業

No.	項 目	内 容
1	協会機関紙「HOWDY」発行(年3回)	協会の機関紙を年3回(4月、9月、1月)発行した。(合計2100部)また、事業参加生の体験記を掲載した別冊「HOWDY」を発行した。
2	姉妹都市交流の絆～国際交流のつどい～(2月17日実施)	賛助会員の親睦を図るとともに、国際交流・多文化共生に対する理解の輪を広げるための交流会を開催した。(参加者:218名)